

第一部 向丘高校の歴史と回顧



▲第九代校長原隆男先生書

東京都立向丘高等学校前史

その日ルーズベルト死去の報に今夜はよもや空襲もあるまいと警備の者も一年間の緊張をふとゆるめて直室に横になった九時すぎ、警報より先に校舎のうしろに爆弾第一発が、投下されて大空襲がはじまった。焰をくぐり、闇の中を駆けまわって重要書類を集め、埋め終わり、宿直の女生徒九人と校門を逃れ出て空から音立てて降り注ぐ焼夷弾の下を一夜中爆撃に追われて逃げまどい、明ければ艦載機からの一斉銃撃である。一面の猛火の中を傷ついた生徒を両手にさし上げて、互いに燃えつかれぬよう息のかぎり走ったのは昭和二〇年の四月十三日夜の本校の前身校の一つである豊島高等実践女学校焼失当夜のことである。この学校ははじめ豊島地区の女子に実業補習教育を施すため、時習小学校に置かれ、独立して巣鴨二丁目に区立、後に市立、都立と度々の移管を見たもので、伊藤泰治校長の下に教職員二十余名四年制三学級編成であった。十九年以来殆んど授業は警報によって中断され、上級生は朝六時すでに工場で出欠をとっており、一日中軍用テントの塙目打ち、組立て、戦地向け救急袋の作製等の労働を続け、教師は空襲下学校と工場間を必死に駆け往復する状態である。学校に残る者も、生徒教師何れも厳しい防空服装で教練をやったものである。焼失後は豊島第二高等小学校、長崎第五小学校等の一部を仮用して、戦災、疎開等で少数となった生徒を少数の先生で授業した。手作りの小旗の波につつまれて男子の先生は次々に出征されており、たとえ、深夜でも警報と同時に可能な者は学校にかけつけて部署につく体制のため、一日ずつに各自生死のほどが考えられないときであった。従って女子の先生も勤務上無理を生じ家庭に帰る者が多かったからである。八月十五日の天皇放送、九月二日降伏文書調印により日本はついに占

領政策下におかれたが、忽ちに総指令部から修身、日本史、地理の授業停止が指令され、教科書の収集破壊と新教科書の作成が命令された。この間生徒らは所々墨をもってぬりつぶした教科書を開き、教師も言わむとして言い得ぬことの多い授業の連続であった。二年、同じく戦災の都立浅草実践、都立京橋家政の両女学校を統合して都立向丘高等女学校となり、戦災を免れた学校を探し求めて、誠之小学校の一部を仮用して授業をはじめた。先に停止された日本史と地理は暫定教科書が作られ、修身に代る道徳教育として公民科が設けられた。時にはG・H・Qより視察があり、静かな一斉授業は喜ばれず、体操は「自由」にとぶらぶらする時間となり、手洗いの清掃に精を出す等の現象もあつた。文部省より「新教育方針」が出され、教育勅語奉読も廃止ときまつた。続いて新教育体制が発表され、男女共学実施の通達をうけた二二年、「教育基本法」が公布され「学習指導要領」も配布されて教育界も軌道にのりはじめた頃再び統合問題が起つた。

他方、大正七年四月創立、立派な校舎に、古い歴史と伝統をもつて堅実な女子教育を行なってきた東京都立家政女学校はもと実業補習学校より出発、実科女学校時代を経て山田文雄校長のもと教員二十名余三学級編成の学校であつた。一八年戦時措置により都立本郷女子商業学校となつていずとも同じ時勢の要求にもれず、各学年それぞれ勤労動員により授業を捨てて、工場に働いた。山田校長と数名の女生徒で留守を守る学校も二〇年一月二五日大空襲のために焼失して、同区内汐見小学校の一部を仮用して授業を開始した。二一年水町清校長時代、都立豊島女子商業学校を統合、つづいて都視学官阿部篤三氏を校長として、後の二二年一月には三〇周年記念式を行っている。

当時、本郷区は新学制施行に伴つて、旧制の第一高等学校を失い、地元には公立高校が一枚も存在しないことを遺憾として、男子系、女子系一枚ずつの新制高

校設立を念願されたのであつた。このため井形区長、宮下区教育長、木下区施設課長と区議会教育委員久水氏等中心となつて、その構想の一つである前記本郷女子商業と向丘高女の統合を押し進めるため、文部省及び都に對して猛烈な運動を起された。署名陳情はもとより時の文部大臣高橋誠一郎氏を煩わして折からの文化祭にわざわざ学校視察に来校、種々説明の機会を設けるなど、関係者一同の熱意は実つてついに女子系新制高校設立の認可を得たのである。ちなみに男子系としては当時豊島区にあつた、同じく戦災校の旧制市立三中を移して現在の文京高校としたのであつた。

続いて校地の選定が大問題であり、先に駒本小学校の焼跡である現在地を得るまでには換地獲得のための奔走にはじまり地元の人々の協力により決定をみるまでは勿論、新校舎の建築もまた大事業であつた。当時向丘高校側では高等女学校校長伊藤泰治氏転任について、学校、P・T・A共に留任運動を強行して居り、岩間昌稔先生が校長事務取扱いとして本郷女子商業学校の阿部校長のもと藤井辰太先生と共に統合問題の推進力となり二三年かけて、校舎建築、校長、校名の打ち続く大問題にとり組みすべての折衝に当られた。この際、前記の区代表の方々、区議の方々の運動の先頭に立つての指導活躍は、本校設立の暁は区立高校といふべきではないかと言つた者もある程であつた。加えるにあふれる熱意と強烈な実行力を伴つたP・T・Aがあり三者團結して今日の向丘高校を創設された当時の厚意と労苦は現在からは到底押しして測り得ぬものがあつた。終戦後ようやく二年、物資は依然欠乏しており物価高騰して國民は厳しい耐乏生活に喘ぎ、交通事情の悪さも甚しかった当時において、國家將來のため尤も重要かつ急務とする青少年教育の場を作り上げる為、すべてを忘れて打ちこみ努力せられた方々に深い感謝と敬意を捧げる。

(創立二十周年記念誌より転載)

向丘四十年間のあゆみ

1950 (昭和25年)	1949 (昭和24年)	1948 (昭和23年)		
<p>東京都立向丘高等学校と校名変更 宇野哲人氏校長事務を免ぜられ、都立上野忍岡高等学校長土屋潤身校長となる。 第三回文化祭(一日) 一・一三 一・一三</p>	<p>文京区駒込追分町一〇〇、元駒本小学校跡地に新築された校舎に移転 真砂小学校より新校舎に定時制移転 新校舎落成式挙行 海の家を三浦海岸、山の家を軽井沢で実施 三年修学旅行、大阪・京都・奈良・費用一人二、六〇〇円 一〇・二一〜二七 七・二一〜三一 五・二〇 五・一 四・一八</p>	<p>東京都立向丘高等女学校と東京都立本郷女子商業学校とを統合して東京都立向丘本郷新制高等学校を開校する。 阿部篤三氏校長事務取扱を命ぜられる。 都立本郷実業専修学校本校の定時制となる。主事長田広氏 阿部篤三校長都視学官に転出 東大名督教授宇野哲人校長事務取扱を命ぜられる 宇野校長着任式、東京新聞社員取材に來校、NHKより異例の人事として放送された。 はじめて逗子海岸で海の家、参加生徒三五名 七・二一 五・一八 一・二三 生徒職員学校農園(京王線金子)の農作物試食会をひらく 一・二三</p>		
1955 (昭和30年)	1954 (昭和29年)	1953 (昭和28年)	1952 (昭和27年)	1951 (昭和26年)
<p>生徒会主催卒業学年送別会を東洋大学講堂に於て行う 第三期増築工事完了(旧三号館完成) 文化祭定時制と合同で開催 二・一六 七・一四 一・六</p>	<p>校旗出来る 校舎全部の塗装工事三〇万円を投じ面目一新する 若竹寮落成披露会 二・三 四・一五 一・二〇</p>	<p>運動場整地工事終了 第一期増築校舎(平屋建化学、生物、普通教室2)落成式挙行七・四 この年より二期制となり期末テスト行う 九・二九 運動場拡張、校地周辺万年堀設置工事、講堂敷地の一辺も同様着手 一〇・一五</p>	<p>標準服きままる 校長土屋潤身氏都立江北高等学校長に転任、都立目黒高等学校校長宮本寛氏校長となる 一〇・一 一二・九 校地内の家屋の名称を若竹寮と選定</p>	<p>H・R及びP・T・A、校内緑化運動に意を用いる 第一期増築工事落成式挙行 グランド南側へ校地拡張される、井戸、物置一棟設置 七・七 八・</p>

1960 (昭和35年)	1959 (昭和34年)	1958 (昭和33年)	1957 (昭和32年)	1956 (昭和31年)
<p>都議会、教育庁、教育委員会に校舎改築促進の請願陳情を行う(民間地元の協力多大)。</p> <p>第十一回文化祭、全・定共催、展示・映画・弁論大会の他仮装行列と食堂の開設加わる。</p> <p>一一・一一〜一二</p>	<p>体育館建設地鎮祭挙行</p> <p>三・一二</p> <p>定時制主事長田弘氏退職。都立一橋高等学校主事相沢英夫氏主事となる</p> <p>四・一</p> <p>体育館落成式</p> <p>一一・一〇</p>	<p>郵政省用地買取成り、民有地との境界に石標設置</p> <p>五・二六</p> <p>運動場一部を民有地と入替え整地、コート開きを行う</p> <p>一〇・一一</p> <p>第十回文化祭、全・定共催</p> <p>一一・八</p> <p>定時制給食施設落成</p>	<p>体育館建設の資金調達に関する各家庭への協力要請の説明会</p> <p>四・二八</p> <p>校長官本覚氏退職、都立雪谷高等学校教頭石章二郎氏校長に補せらる</p> <p>四・一</p> <p>体育館建設準備打合せ</p> <p>七・一五</p> <p>P T A 合同建設委員会</p> <p>八・二八</p>	<p>第八回卒業式挙行(東洋大学講堂)</p> <p>三・九</p> <p>田研式精神健康度診断検査施行(全生徒を対象)</p> <p>六・二三</p> <p>高体連野球大会で優勝</p> <p>一〇・二六</p>
1965 (昭和40年)	1964 (昭和39年)	1963 (昭和38年)	1962 (昭和37年)	1961 (昭和36年)
<p>松沢教頭都立大島高等学校長に補せらる</p> <p>一・一</p> <p>定時制主事相沢英夫氏退職。都立大泉高等学校教諭芹川正虎氏主事を命ぜられる。</p> <p>四・一五</p> <p>生徒会役員と校長、教頭、生徒指導委員との話し合い(朝礼・規約改正・美化風紀・生徒会功労賞等学校生活全般について)。</p> <p>六・一八</p>	<p>向丘・小石川・竹早三校合同美術展開催</p> <p>一・一六〜一八</p> <p>第三期工事校舎竣工、天体観測室竣工</p> <p>三・三一</p> <p>学校所在地表示変更。旧文京区駒込追分町一〇〇番地より文京区向丘一丁目一一番一八号となる。</p> <p>八・一</p> <p>第十八回オリンピック東京大会開会式並びに閉会式のリハーサルに参加(生徒五〇三名) ギリシャ・エクアドル九ヶ国の模擬選手団を編成。</p> <p>一〇・三</p>	<p>学校薬剤師会による環境衛生検査実施</p> <p>三・一二</p> <p>スケート教室(軽井沢スケートセンター泊)</p> <p>三・一九</p> <p>校長石章二郎氏都立青山高等学校に転任。都教育庁職員課より佐々木益男氏校長に補せられ着任。</p> <p>四・一</p>	<p>開校記念日記念行事挙行(NHK解説副委員長館野守男氏の講演と竹内節子氏のモダン・ダンス)。</p> <p>五・二〇</p> <p>エスペラント語全国教育者会議(於図書室)</p> <p>七・二〇</p> <p>校舎増改築第一期竣工祝賀会</p> <p>一一・七</p> <p>門衛配置、生徒の外出早退扱いについて規正する</p> <p>一二・五</p>	<p>全校マラソン大会挙行(荒川戸田橋畔堤防コース)</p> <p>二・二三</p> <p>ウェイトリフティング世界選手権予選を本校体育館にて行う。本校一、二学年見学。</p> <p>九・二</p> <p>校舎改築起工式</p> <p>一二・一三</p>

1968 (昭和43年)	1967 (昭和42年)	1966 (昭和41年)	
<p>予餞会(北区公会堂) 佐々木益男校長退職 教育庁指導部より藤黒正明氏校長に補せられ着任 第五期工事竣工移転(生物室・保健室等) 第六期増築工事(現一号館四階)着工 向陵祭(展示・音演・運動会) ロスカントリー(多摩湖畔)</p> <p>一〇・一二〜一四 一一・二二</p>	<p>入学者選抜九二群運営委員会ひらかる 九二群応募者実数、男子七二八、女子六一四名 生徒会、クラブ部室竣工 二十周年記念誌のため旧職員をかこむ座談会ひらく(校長室) 五・一三 一号館後側コンクリート舗装(生徒作業による) 創立二十周年記念式典挙行 若竹寮取りこわし作業 一〇・三一 第五期工事杭打作業はじまる 一〇・三一 校内弁論大会 一一・一五</p>	<p>二十周年記念事業校内準備委員会ひらく 夏季合同合宿にコーチ格で参加の卒業生と連絡懇談会ひらく 学校群組合せについて本校のとりべき態度、希望について緊急職員会議 七・八 フィラデルフィア地区教育課程指導主事バルザウ女史来校視察 一一・二二</p>	<p>本校P・T・A会長赤沢光吉氏、全国P・T・A協議会より表彰状をうける。</p>
1970 (昭和45年)	1969 (昭和44年)		
<p>一部の生徒、テスト制度・評価について大衆団行を要求 一・一七 一部生徒定期テストの受験を拒否し社準に立てこもる。一名生徒ハンストに入る。内ゲバ等もあり、教員側は夜勤、宿直を実施。 一・二三〜二・六</p>	<p>予餞会(豊島公会堂) 二・七 第六期増築工事竣工(図書室・生物室) 二・二八 一年移動教室(軽井沢) 四・二三〜二五 一年水泳教室(後楽園プール) 七・一五〜一七 向陵祭 九・二六〜二八 音楽鑑賞会(上野文化会館 東京ロイヤルフィル演奏) 一〇・九 一部の生徒、自主生徒集會行なう 一〇・二〇 三年の一部生徒、ピラを配布。自主討論に参加する生徒・クラス増える。 ホームルームの自主討論会続く。二、三年学年集會 生徒会評議委員会開かれる。 一〇・二七〜一一・一 職員会議で中間考査中止を決定 一一・四 全校平常授業態勢に入る。藤黒校長と三年代表の生徒との懇談会行われる。 一一・二二 ロスカントリー(多摩湖畔) 一二・五 職員会議で自主討論会問題(昼食時の外出・服装等)について総括 一二・一〇 バリケード封鎖(一号館四階)その他は学校側で解除させる。 一二・一五 封鎖続く。一般生徒總會を開き、封鎖生徒に対して解除を申し入れる。教員側も、夜勤、宿直、職員会議も随時行ない、封鎖生徒への説得を続ける。 一二・一六〜二一 二年生徒五名四階に突入、実力で封鎖を解除する。封鎖に参加した生徒と教師父母との話し合い行われる。 一二・二二 生徒總會で封鎖生徒の提案否決される。 一二・二三</p>		

1973 (昭和48年)	1972 (昭和47年)	1972 (昭和46年)	1970 (昭和45年)
<p>義太夫教室(二年生とPTAの希望者) 東京文化会館で行なわれる。以後五〇年まで三回行なわれる。 向陵祭(九・三〇～一〇・二) クロスカントリー(二・二五) 安全教育(オートバイによる事故防止) 白バイ隊の実演と映画 一一・一〇</p>	<p>藤倉正明校長退職 三・三一 都立南葛飾高校教頭金井量二氏、本校校長に補せられ着任 四・一 陸上記録会(北区神谷グラウンド)。これ以後毎年の学校行事となる 六・一〇 合唱コンクール(六・二二) 共立講堂 歌舞伎教室(七・一〇) 国立劇場 向陵祭・体育祭(九・三〇～一〇・二)</p>	<p>建国記念日の日反対の立看板立てられる 二・九 生徒集会に於いて、生徒会のあり方、存続問題について討議(約百名出席) 二・二六 本校一部生徒四月より六月にかけて断続的に沖繩調印反対の立看板が校内に立てられたり、ピラ配りなど行われる。歌舞伎教室(国立劇場)(生徒・PTAの希望者) 以後毎年の学校行事となる。 六・二二 文楽教室(国立劇場)(生徒・PTAの希望者) 九・二七 向陵祭(一〇・二～四) 音楽鑑賞会(一〇・二〇) 共立講堂</p>	<p>第二二回卒業式 生徒一名壇上でアジ演説。一五分で平静となり、式典続行。 三・一九 安保廃棄のためのスト決議、全校スト、学校集会参加の立看板立てられる。 六・一八 全校生徒に対する“自重を望む”主旨の告示及び生徒指導のプリント配布。 六・二〇 向陵祭(一〇・二四) 音楽鑑賞会(一〇・九) 共立講堂 六月より十一月にかけて断続的に校外反戦集会への参加呼びかけのピラ、立看板など立てられる。</p>
1977 (昭和52年)	1976 (昭和51年)	1975 (昭和50年)	1974 (昭和49年)
<p>陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・一八 歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・一八 新三号館竣工 九・九 新三号館移転 九・二二 創立三十周年並びに新三号館落成記念式典 一〇・六 合唱コンクール(一〇・七) 向陵祭展示・音演(一〇・八・九) 体育祭(一〇・一〇)。文楽教室(国立劇場) 一一・一五</p>	<p>三号館増改築予算 知事査定で決定 二・四 陸上記録会 六・二 文楽教室二年全員参加(国立劇場) 九・二七 合唱コンクール(九・三〇) 北区公会堂 向陵祭(一〇・二～四) 文京学園並びに教育庁用地係と二回の交渉を持つ(一〇・二八、一一・二四) ヒマラヤ杉 都立高島高校へ移植 一二・四 三号館増改築抗打ち始まる 一二・一六</p>	<p>一号館騒音対策工事竣工 二・一〇 金井量二校長都立小松川高校長へ転出 原隆男都立台東商業高校長、本校校長に補せられ着任。 四・一 陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・一一 文京女子短大島田副学長所有地売却申し出のため来校 八・一五 都側と文京学園代表者との正式折衝が森ビル内で行なわれる 一二・八</p>	<p>陸上記録会(六・一二) 向陵祭(九・二七～二九) 一〇・九 一号館騒音対策工事(冷暖房工事)のため一年二クラス教室移動 一〇・九～一一・一五</p>

1979 (昭和54年)	1978 (昭和53年)	
<p>原隆男校長退職</p> <p>都立北高校長菊野和夫氏本校校長に補せられ着任</p> <p>新一年から従来の七クラスが八クラスとなる</p> <p>演劇教室「人形の家」(北区公会堂)</p> <p>標準服決まる、女子は紺のブレザー・スカート、エンジのネクタイ(校章入り) 男子は紺のブレザー・スボン、エンジのネクタイ(校章入り)</p> <p>陸上記録会(北区神谷グラウンド)</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場)</p> <p>水泳教室 一年(東京スイミングセンター)</p> <p>向陵祭・合唱コンクール(虎ノ門ホール)</p> <p>向陵祭・展示・音演</p> <p>クロスカントリー(狭山湖畔)</p> <p>文楽教室 二年</p> <p>体育科「VTRによるマスケゲーム及び組体操の効果的指導」に対して、松下視聴覚教育研究財団より研究助成金四〇万円が贈呈される三・</p> <p>映画教室「白き氷河の果てに」(有楽座)</p> <p>井口磯夫教諭(理科) 加速度測定器の製作によって東レ科学振興会主催の理科教材教員奨励賞受賞。</p> <p>陸上記録会(北区神谷グラウンド)</p> <p>水泳教室 一年</p> <p>向陵祭・合唱コンクール(虎ノ門ホール)</p> <p>向陵祭・体育祭 九月二八日雨天のため十月四日に延期 四日も雨天のため延期し、十月三十一日午後体育祭を行なう。</p> <p>向陵祭・展示・音演</p> <p>放送部優勝 高校放送文化祭テレビ、テーマIIの部で第1位「夏目漱石を追って」。</p>	<p>三・三一</p> <p>四・一</p> <p>四・一〇</p> <p>五・一</p> <p>五・一三</p> <p>六・一四</p> <p>七・八</p> <p>七・二一〜二四</p> <p>九・二六</p> <p>九・三〇、一〇・一</p> <p>一〇・二</p> <p>一一・二九</p> <p>一二・二八</p>	<p>五・一</p> <p>五・一三</p> <p>六・一四</p> <p>七・八</p> <p>七・二一〜二四</p> <p>九・二六</p> <p>九・三〇、一〇・一</p> <p>一〇・二</p> <p>一一・二九</p> <p>一二・二八</p>
1981 (昭和56年)	1980 (昭和55年)	
<p>新体育館建設地鎮祭</p> <p>映画教室「スケアクロウ」(丸の内ピカデリー)</p> <p>保健講話「食品公害」講師 郡司篤孝氏</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場)</p> <p>水泳教室 一年(東京スイミングセンター)</p> <p>向陵祭・合唱コンクール(虎ノ門ホール)</p> <p>向陵祭・展示・音演</p> <p>向陵祭・体育祭(北区神谷グラウンド)</p> <p>野球部東京都高等学校軟式野球秋季大会でベスト4となる 一〇月初旬</p>	<p>クロスカントリー 狭山湖に朝集合したが、雨が降り出しクロスカントリーは中止し、狭山湖周辺の散策に変更。</p> <p>文楽教室 二年(国立劇場)</p> <p>体育館建築委員会発足</p> <p>各学年八クラスとなり、二四クラスとなる</p> <p>映画教室「さらめきの季節」(新宿ピカデリー)</p> <p>体育館改築決定 工事着工は五十五年度末 完成は五十六年度末の予定</p> <p>陸上記録会(北区神谷グラウンド)</p> <p>保健講話 講師 医学博士高橋晁正氏「日常生活に密着した食品公害」</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場)</p> <p>水泳教室 一年(東京スイミングセンター)</p> <p>向陵祭・合唱コンクール(虎ノ門ホール)</p> <p>向陵祭・展示・音演</p> <p>クロスカントリー(狭山湖畔)</p> <p>文楽教室 二年(国立劇場)</p>	<p>一一・二八</p> <p>一二・一七</p> <p>二・一九</p> <p>四・一〇</p> <p>五・一</p> <p>六・九</p> <p>六・一八</p> <p>六・二八</p> <p>七・九</p> <p>七・二一〜二四</p> <p>九・二二</p> <p>九・二七、二八</p> <p>九・二九</p> <p>一一・二六</p> <p>一二・八</p> <p>四・二五</p> <p>五・一</p> <p>六・二〇</p> <p>七・九</p> <p>七・一一、一三、一四</p> <p>九・一〇</p> <p>九・二六、二七</p> <p>一〇・八</p>

1982 (昭和57年)	1981 (昭和56年)
<p>クロスカントリー (狭山湖) 「都高校研究大会NHK研究委嘱校発表会」(向丘高校) 一一・二 マイコンによる個人別学習の公開研究授業 NHKニュースで紹介される。 一二・ 文楽教室 二年(国立劇場) 一二・一七</p> <p>映画教室「カッコウの巣の上で」(九段会館ホール) 五・一 プール完成 我校待望のプール開き 水泳部初泳ぎ 五・二九 自転車置場設置委員会発足 六・二 陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・八 コンピュータによる国語研究授業発表(本校) 六・一七 朝日新聞社会部記者2名マイコン個別指導取材のため来校 六・二三 歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・一二</p> <p>向陵祭・合唱コンクール アトラクションとしてPTA後援によりブラスアンサンブル(東京都交響楽団若手グループ)演奏(新体育館)九・二四 向陵祭・展示・音演 九・二五、二六 旧体育館取りこわし決定 九・二五 向陵祭・体育祭(千駄ヶ谷東京体育館) 一〇・九 アメリカミネソタ州教育長ロイド・ニールセン夫妻マイコン利用による個人別学習参観のため来校 一一・四 タイ文部省関係の方々学校参観のため来校。 一一・二五 クロスカントリー(狭山湖) 一二・三 文楽教室 二年(国立劇場) 一二・一六</p>	<p>韓国教育開発学院学校視察のため来校 三・一 多目的校庭(旧体育館跡地)完成 四・一九 佐々木益男元校長叙勲 お祝いの会 五・二八 向陵祭・合唱コンクール(体育館) 六・七 陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・一〇 保健講話「スポーツと青春」講師伊藤高弘氏 六・二二 校庭南側空地(以前文京女子短大所有地)マンション建設の挨拶あり。 六・二七 校庭拡張として学校側が購入を希望していた土地である。 六・二七 松下視聴覚財団よりコンピュータ寄贈される 七・一 歌舞伎教室 七・一一 向陵祭・展示・音演 九・二四、二五 向陵祭・体育祭・台風接近により雨激しく午前中で中止 午後体育館に於て後夜祭を行なう。 九・二七 マレーシア教育省教育次長コンピューター施設見学のため来校 一〇・五</p>
1984 (昭和59年)	1983 (昭和58年)
<p>クロスカントリー(狭山湖) 一二・二 文楽教室 二年(国立劇場) 二・一七 共通一次試験 本年より実施。本校も会場として使用される 一・一四、一五 映画教室「砂の器」(板橋文化会館) 五・一 性教育研究会 研究授業会津教諭 読売テレビ収録 五・二二 保健講話「山と人生」講師は医師で登山家の今井通子氏 六・一三 向陵祭・合唱祭(板橋文化会館) 本年よりコンクールはやめて合唱祭とする。 六・二〇 陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・二二 歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・一一 ギター部 全日本学生フェスティバルで最優秀賞受賞 九・一七 向陵祭・展示・音演 九・二二、二三</p>	<p>韓教育開発学院学校視察のため来校 三・一 多目的校庭(旧体育館跡地)完成 四・一九 佐々木益男元校長叙勲 お祝いの会 五・二八 向陵祭・合唱コンクール(体育館) 六・七 陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・一〇 保健講話「スポーツと青春」講師伊藤高弘氏 六・二二 校庭南側空地(以前文京女子短大所有地)マンション建設の挨拶あり。 六・二七 校庭拡張として学校側が購入を希望していた土地である。 六・二七 松下視聴覚財団よりコンピュータ寄贈される 七・一 歌舞伎教室 七・一一 向陵祭・展示・音演 九・二四、二五 向陵祭・体育祭・台風接近により雨激しく午前中で中止 午後体育館に於て後夜祭を行なう。 九・二七 マレーシア教育省教育次長コンピューター施設見学のため来校 一〇・五</p>

<p>1986 (昭和61年)</p>	<p>1985 (昭和60年)</p>	
<p>向陵祭 展示・音演 九・二七、二八</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・一〇</p> <p>向陵祭・合唱祭(板橋文化会館) 六・二五</p> <p>陸上記録会 前日雨によるグラウンド使用不可のため中止 六・一九</p> <p>映画教室「植村直巳物語」(日劇プラザ、日劇東宝) 五・一</p> <p>教職員一四人転入される 四・一</p>	<p>向陵祭・合唱祭(板橋文化会館) 一九八一年卒業今津孝さんアトラクショ 九・一一</p> <p>向陵祭・体育祭 九・二六</p> <p>向陵祭・展示・音演 九・二八、二九</p> <p>荒井弘教諭(国語) 交通事故のため逝去 一・一四</p> <p>クロスカントリー(多摩湖) 二・二四</p> <p>文楽教室 二年(国立劇場) 二・一六</p> <p>九人の先生方が本校に転入される</p> <p>映画教室「ライトスタッフ」(板橋文化会館) 五・一</p> <p>体操部 高体連春季大会で優勝 五・</p> <p>陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・七</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・一一</p> <p>文学散歩クラブ 第九回全国高校総合文化祭(盛岡市)に参加 その作 品は全国高校生文芸集創刊号(六〇年七月発行)に二五ページにわたり 掲載される。 八・</p>	<p>向陵祭・体育祭 九・二八</p> <p>クロスカントリー(多摩湖) 一・二八</p> <p>文楽教室 二年(国立劇場) 二・一七</p> <p>教諭四名退職、転任七名 必昇進の制度が実施され転出入の多い年とな る。昭和六十年より定年制がしかれ長年お世話になった用務主事の高師 さんも退職される。 三・三一</p>

<p>1987 (昭和62年)</p>	<p>1986 (昭和61年)</p>
<p>平塚寛次郎校長退職 昭和二三年以来向丘高校一すじに勤務された春山隆男教諭退職 三・三一</p> <p>都立竹台高校教頭新城昇氏本校校長に補せられ着任 四・一</p> <p>映画教室「ミッシェン」(日劇プラザ、日劇東宝) 五・一</p> <p>陸上記録会(北区神谷グラウンド) 六・一一</p> <p>向陵祭 合唱祭(板橋文化会館) 三年生の活躍目立つ 六・二三</p> <p>歌舞伎教室 一年(国立劇場) 七・九</p> <p>ギター部 全日本ギターフェスティバルにて最優秀賞受賞 九・二〇</p> <p>向陵祭 展示・音演 九・二六、二七</p> <p>向陵祭 体育祭 九・二八</p> <p>四十周年記念式典 二・七</p>	<p>向陵祭 体育祭 九・二九</p> <p>二年修学旅行 農作業の体験学習を初めて取り入れる。島根県六日市町 で六一七人のグループに分れ各農家にお邪魔し農作業を体験する。その 体験学習の様子は日本テレビ、NHKラジオ等でユニークな修学旅行と して放送される。 一・一〜一四</p> <p>クロスカントリー(多摩湖) 二・一</p> <p>文楽教室 二年(国立劇場) 二・一三</p>

(創立四十周年記念誌より抜粋・転載)

向丘この十年間のあゆみ

1989年 (昭和64年 平成元年)	1988年 (昭和63年)	
<p>教諭六名、事務二名異動。新しく教諭七名、事務二名着任。</p> <p>始業式 四・一 入学式 四・八 対面式 四・九 陸上記録会 (北区 神谷グラウンド) 四・一 合唱祭 (板橋区立文化会館) 六・九 向陵祭 (文化祭) 六・二二 体育祭 九月二十六日予定が雨のため下記に変更。 九・二四、二五 球技大会 一・一三 クロスカントリー (狭山湖畔) 一・七、八 卒業式 一・三〇 修了式 三・二五</p> <p>平成元年三・一一</p>	<p>教諭八名事務一名異動。新しく教諭八名事務一名着任。</p> <p>始業式 四・一 入学式 四・八 対面式 四・一〇 映画教室 四・一一 陸上記録会 五・一 合唱祭 (板橋区立文化会館) 六・二二 向陵祭 (文化祭) 九・二三、二四 体育祭 九・二五 クロスカントリー (狭山湖畔) 一・二九 卒業式 一・三〇 修了式 三・二四</p>	<p style="text-align: center;">本 校 の あ ゆ み</p>
<p>第十五回冬季オリンピック ユニバーシアード大会。男子スピードスケート 黒岩彰選手 銅メダル</p> <p>青函トンネル津軽海峡線 開通。青函連絡線廃止。 二</p> <p>東京後楽園球場跡に東京ドーム「ビッグエッグ」完成。 三</p> <p>中国上海郊外で、私立高知学芸高校の修学旅行列車が重大事故。生徒、引率教諭計二十七名が死亡。 三</p> <p>本州と四国を結ぶ世界最長の瀬戸大橋が開通。 四</p> <p>横須賀沖で海上自衛隊の潜水艦「なだしお」と大型釣り船「第一富士丸」が衝突。一名死亡、二十九名が不明。 八</p> <p>横綱千代の富士が全勝優勝。 九</p> <p>リクルート疑惑。 一〇</p> <p>米大統領選挙共和党ジョージ ブッシュ氏 当選。 一一</p>	<p>天皇陛下御崩御。御年八十七歳。皇太子 明仁親王 即位。元号「昭和」から「平成」へ。 一・七</p> <p>佐賀県吉野ヶ里遺跡で弥生中期紀元前一世紀の大規模墳丘墓発見。 三・二</p> <p>竹下首相 リクルート疑惑で政治不信の責任とり退陣表明。 四・二四</p> <p>中国民主化デモ激化 (北京 百万人デモ)。 五・一七</p> <p>ゴルバチョフ氏 ソビエト最高会議議長就任。 五・二五</p> <p>歌手 美空ひばり 死去。 六・二四</p> <p>米無人探査機ボイジャー二号 海王星に接近。 八・二四</p> <p>横綱千代の富士に国民栄誉賞。 八・二九</p> <p>サンフランシスコ大地震。 一・一九</p> <p>ベルリンの壁撤去。 一・一九</p>	<p style="text-align: center;">社 会 の あ ゆ み</p>

1991年 (平成3年)	1990年 (平成2年)	
<p>1991年 (平成3年)</p> <p>学校長新城昇定年退職。東京都立両国高等学校教頭池永武昭 校長に補せられる。他に教諭四名事務一名異動。新しく教諭四名事務一名用務一名着任。</p> <p>始業式 四・一</p> <p>入学式 四・八</p> <p>映画教室 (アメリカ映画 愛がこわれる時 有楽町マリオン) 五・一</p> <p>遠足 東京デイズニerland (三学年) 鎌倉 江ノ島 (二学年) 五・一</p> <p>合唱祭 (板橋区立文化会館) 六・二〇</p> <p>向陵祭 (文化祭) 九・二二、三</p> <p>体育祭 (本校校庭) 九・二四</p> <p>体育館屋根塗装工事 六・二五</p> <p>内装二号館1F、4F 七・九</p> <p>L・L教室工事着工。 三・二五</p> <p>改修・改装工事の多い年であった。カンつぶし機 (コスモ) 購入。</p>	<p>1990年 (平成2年)</p> <p>教頭山口千鶴子東京都立小平高等学校校長となる。他に教諭二名退職五名異動。 三・三一</p> <p>東京都立神津高等学校教頭河上一雄 教頭に補される。他に七名の教諭着任。 四・一</p> <p>始業式 四・九</p> <p>入学式 四・一〇</p> <p>対面式 四・一一</p> <p>映画教室 五・一</p> <p>陸上記録会 六・一四</p> <p>向陵祭 (文化祭) 九・二三、四</p> <p>体育祭 九・二五</p> <p>クロスカントリー (狭山湖畔) 一・二七</p> <p>卒業式 三・九</p> <p>修了式 三・二五</p>	
<p>新都庁舎新宿に落成。</p> <p>都知事選 鈴木候補 四選果たず。</p> <p>雲仙・普賢岳噴火。島原市大被災。</p> <p>フィリピンピナトラポ山今世紀最大の噴火。</p> <p>上越新幹線 上野―東京間開業。</p> <p>ロンドン・サミット開幕。</p> <p>ソ連クーデター失敗。共産党解散。</p> <p>第三回世界陸上選手権東京大会開幕。男子マラソン谷口浩美選手金メダル。</p> <p>ノーベル平和賞 ミャンマーのアウン・サン・スーチー女史に授与決まる。</p> <p>宮沢内閣発足。</p> <p>日本シリーズ西武が広島に四勝三敗で勝つ。</p> <p>流行語「ジャンジャガジャン」</p> <p>一〇・二八</p>	<p>ルーマニア・チャウシエスク独裁政権崩壊。 一一・一七</p> <p>パナマ・ノリエガ將軍 米軍に投降。 一・三</p> <p>第三十九回衆議員総選挙 自民党 圧勝。 二・一八</p> <p>ゴルバチョフソ連共産党書記長 初代大統領に就任。 三・一五</p> <p>ベルー大統領選挙で日系二世フジモリ氏 勝利。 六・一〇</p> <p>ワールドカップ・サッカー 西独が優勝。 七・九</p> <p>イラク軍がクエートに侵攻。 八・二</p> <p>第十一回アジア大会 北京開幕。 九・二二</p> <p>東西両独統一。 一〇・三</p> <p>ノーベル平和賞ゴルバチョフ氏に決定。 一〇・一五</p> <p>日本シリーズ西武が巨人に四連勝で優勝。 一〇・二四</p> <p>ポーランド大統領選挙ワレサ「連帯」の圧勝。 一一・九</p>	

	1993 (平成 5 年)	1992 (平成 4 年)
	<p>向陵祭・合唱祭 (於―板橋文化会館大ホール)</p> <p>一年生・二年生の教科単位数を31単位とし、卒業に必要な単位数を83単位とする新カリキュラムの変更案を決定する。</p> <p>向陵祭・文化祭 (スローガンは「爆発寸前の向丘」)</p> <p>向陵祭・体育祭 (於―夢の島陸上競技場)</p> <p>六・二三 七・一七 九・二五・二六 九・二八</p>	<p>向丘高校の改築事業が内定し、プレス発表される。</p> <p>入学式。呼名を行うかどうかで前日大議論となるが、最終的に行わないことに決定する。</p> <p>映画教室 (「おろしゃ国 酔夢譚」於―有楽町マリオン)</p> <p>L1教室の設置に伴い、その使用管理規定を決定する。</p> <p>遠足 (一年生は富士サファリーパーク、二年生は江ノ島)</p> <p>向陵祭・合唱祭 (職員合唱は「雨」。於―板橋文化会館大ホール)</p> <p>4週8休制が導入され、以後、事務職は土曜日が休みとなる。</p> <p>校舎改築・改修にむけての基本方針案を決定する。</p> <p>校舎改築に伴う要望書を東京都教育委員会に提出する。</p> <p>学校週五日制への移行として、以後、第2土曜日が休みとなる。</p> <p>向陵祭・文化祭</p> <p>向陵祭・体育祭 (於―夢の島陸上競技場)</p> <p>修学旅行 (京都・奈良方面)</p> <p>球技大会 (バスケット・バレー・サッカー・ドッチボール)</p> <p>クロスカントリー (一位は小杉大輔君の30分35秒)</p> <p>二・四 四・九 五・一 五・一三 五・二八 六・二三 七・四 七・六 七・二〇 九・五 九・二六・二七 九・三〇 一一・九 一一・二五</p>
	<p>必修・自由選択併用制の新カリキュラム案を決定する。</p> <p>卒業単位数80単位案、および土曜日授業の振替案を決定する。</p> <p>仮説校舎の配置についての基本方針案を決定する。</p> <p>グループ合同選抜最後の入試が行われる。</p> <p>この年度より、体育着の指定がなくなり、自由服となる。</p> <p>航空機を利用する九州への修学旅行について、一年生の保護者から同意書を取る。同意しないのは四名のため、使用の方向で検討を進める。</p> <p>遠足 (一年生は富士西湖パラマウントパークと風穴見学、二年生は鎌倉・江ノ島、三年生は東京デイズニードランド)</p> <p>一・一 一・二〇 二・一七 二・二四 四・一 五・一五 五・二七</p>	<p>日本医師会が尊厳死を認める。</p> <p>日本で初めて顕微受精による女兒が誕生する。</p> <p>総評センターの解散が決定する。</p> <p>PKOの協力法案が、自民党、公明党、民社党三党の賛成で、本会議で可決成立する。</p> <p>参議院議員選挙で、自民党が改選の過半数を越える。日本新党は四議席を獲得する。</p> <p>スペインのバルセロナで、夏季オリンピックが開催される。日本は、金3、銀8、銅11のメダルを獲得する。</p> <p>戸塚ヨットスクール事件に有罪判決が下る。</p> <p>東証平均株価が六年五ヶ月ぶりに再安値を更新し、バブルが終焉する。</p> <p>スペースシャトルに乗り込んだ日本の宇宙飛行士・毛利衛さんが、日本の子供たちに向けて宇宙授業をする。</p> <p>米大統領選で民主党のクリントン候補が他を圧倒して当選する。</p> <p>七五年の調査開始以来、地価の全国平均が初めて下落した。</p> <p>三・一八 四・七 四・二二 六・一五 七・二六 七・〇 七・二七 八・一一 九・一二 一一・三 一一・二二</p>
	<p>文部省、中学校で行われている業者テストを直ちに排除することを事務次官名で通知する。</p> <p>東京地検は金丸信前自民党幹事長を脱税の疑いで逮捕する。</p> <p>日本サッカーリーグ (Jリーグ) が東京国立競技場で開幕する。</p> <p>皇太子さまと雅子さまの「結婚の儀」が皇居・寛所で行われる。</p> <p>G7とE7Cの首脳・外相による東京サミットが開幕する。</p> <p>第40回総選挙で、自民党は大幅に過半数割れとなり、社会党も惨敗する。</p> <p>新生党と日本新党が躍進する。</p> <p>二・二二 三・六 五・一五 六・九 七・七 七・一八</p>	<p>M7.8の北海道南西沖地震で、津波が奥尻島を直撃、死者一八一人、行方不明者六四人の犠牲者が出る。</p> <p>記録的な集中豪雨に襲われ、鹿児島地方で死者40人、行方不明者25人、負傷22人の被害が出る。</p> <p>細川日本新党代表が首相に指名され、自民党に代わる八党派による連立内</p> <p>七・一二 八・六</p>

1995 (平成 7 年)	1994 (平成 6 年)	
<p>入学選抜に推薦制度が導入される。 旧一号館・二号館、解体工事終了 埋蔵文化財発掘調査着手 入学式 映画教室「ルディ涙のウィニング・ラン」(新宿東映パラス) 遠足 一年生は相模湖ピクニックランド、二年生は鎌倉、三年生は東京デイスニーランド 合唱祭(板橋文化会館)</p> <p>一・二六 二・八 三・七 四・一一 五・一 六・二二</p>	<p>1994 (平成 6 年)</p> <p>卒業式。式歌として「仰げば尊し」を始めて歌う。 77名の大量二次募集を行う。 校長池永武昭都立小松川高等学校校長に転任、都立雪谷高等学校校長北村透本校校長に補せられ着任する。 校舎改築に伴う地域住民への説明会を行う。 来年度より導入される推薦制入試を、本校に於ても実施することを決定する。 映画教室(「リバー・ランス スルー・イット」於「よみうりホール」) プレハブ仮設校舎の工事始まる。 遠足(八景島シーパラダイスなど) 向陵祭・合唱祭(職員合唱は「虹と雪のパラード」。於「板橋文化会館大ホール」) 校舎改築・改修のために仮校舎に移転する。 向陵祭・体育祭を、六義園グラウンドで始めて行う。 向陵祭・文化祭 修学旅行(北九州)。始めて飛行機を利用する。 球技大会(バスケット・バレー・サッカー・ドッチボール) 一一・一五〜一五 クロスカントリー(於「多摩湖」男 8.4km、女 6.8km) 一一・二五</p> <p>三・九 三・一〇 四・一一 四・二〇 五・二 五・二 五・二六 六・二二 九・一 九・二七 九・二四・二五 一一・一五 一一・二五</p>	<p>修学旅行(四国・中国方面) 球技大会(バスケット・バレー・サッカー・ドッチボール) 一一・一〇〜一五 クロスカントリー(於「多摩湖」男 8.4km、女 6.8km) 一一・二四</p> <p>一一・一〇 一一・一〇 一一・二四</p>
<p>阪神大震災発生。神戸を中心に五〇〇〇人を越す死者、行方不明者。三〇万人が避難生活へ。 野茂英雄投手が米大リーグのドジャース入団。 東京で地下鉄サリン事件発生。五〇〇〇人越す死亡者、重軽傷者。 青島幸男氏が東京都知事に当選。公約通り都市博中止決定。 東京為替市場円相場で1ドル八〇円突破、七九円記録。 オウム真理教教団代表松本智津夫逮捕。</p> <p>一・一七 二・二三 三・二〇 四・一九 五・一六</p>	<p>この夏、記録的な猛暑となり、各地で観測史上最高気温を記録し、全国的に給水制限を行う。 世界初の海上空港である関西空港が開港する。国内の国際空港では初の24時間の運用を行う。 大江健三郎氏がノーベル文学賞を受賞する。 日本相撲協会は、大関貴乃花の第65代横綱昇進を決定する。 一一・二三</p> <p>八・九 八・一七 一一・二四</p> <p>閣が45年ぶりに発足する。 円相場が東京外国為替市場で1ドル100円40銭の戦後最高値をつける。 政府はコメの部分の解放を決定する。</p> <p>八・九 八・一七 一一・二四</p> <p>ノルウェーのリレハンメルで、第17回冬季オリンピックが開催される。日本は金1、銀2、銅のメダルを獲得する。 名古屋空港で中華航空エアバスが着陸に失敗し炎上する。二六三人の死者を出す。 羽田新生党党首が首相に指名され、少数与党で新内閣が発足する。 F1ドライバードラジル国民的英雄アイルトン・セナがサンマリノ・グランプリで激突死する。 松本市でサリン噴霧事件が発生し、死者七名を出す。 社会党村山富市を首相とする自民党・社会党・新党さきがけの連立内閣が発足する。 日本人初の女性宇宙飛行士向井千秋さんが82の実験をして無事帰還する。</p> <p>四・二五 四・二六 五・一 六・二七 六・三〇 七・八 八・ 九・四 一〇・一三 一一・二三</p>	

1996 (平成 8 年)	1995 (平成 7 年)
<p>卒業式 営団地下鉄南北線 赤羽岩淵・四谷間開通。王子方面からの通学が便利になる。 入学式 新入学生より一学年六クラスとなる。 映画教室「ショーシャンクの空に」(千代田公会堂) 遠足 一年生は相模湖ピクニックランド、二年生は鎌倉・江ノ島、三年生は東京デイズニールランド 合唱祭(板橋文化会館) 体育祭(六義園運動場) 向陵祭 スローガンは「来て見てさわって向陵祭」初日は台風接近のため、屋で打ちきりになる。二日目は予定通り行った。 創立五〇周年記念事業及び校舎落成記念事業についての準備・検討委員会発足を職員会議で決定する。 クロスカントリー(多摩湖) 修学旅行 二学年沖繩</p>	<p>新標準服検討委員会発足が職員会議で決定される。 体育祭(六義園運動場) 向陵祭 スローガンは「秋だ、祭だ、向陵祭」生徒会の企画として、新標準服のアンケート調査「制服について考える」と、遺跡発掘の中間報告がされる。 新校舎改築工事着手 埋蔵文化財発掘調査終了 縄文時代前期の遺物、江戸時代の地下式土倉、噴砂跡等、多数の遺構が発見される。 修学旅行 二学年 飛行機を利用し、沖繩へ行く。生徒にも概ね好評であった。 球技大会 一・三学年 クロスカントリー(多摩湖) インターネットが導入される。</p>
<p>狂牛病で欧州委員会が英国からの牛肉関連製品の全面禁輸決定。 H I V 訴訟で被告側が原告側に一人四五〇〇万円の和解一時金を支払うこととで和解成立。 橋本首相と駐日米大使の共同記者会見で沖繩普天間基地を五年ないし七年以内に全面返還すると発表。 国際サッカー連盟は二〇〇二年W杯日韓共同開催決定。 第二六回五輪大会開会式が米アトランタ市で開催。一九七カ国・地域が参加。 大阪府堺市の小学校で大腸菌O-157による給食集団中毒事件で被害児童が六〇三人に。被害は全国に拡大。 阪神高速道路神戸線が震災後六二二日より全線開通。 消費税率五パーセント確定。</p>	<p>第十七回参院選で新進党が大躍進。与党はかろうじて改選過半数確保。投票率は過去最低の四四・五二パーセント。 自民党は橋本新総裁の新体制発足。 イスラエルのラビン首相とPLOのアラファト議長が米ホワイトハウスで自治拡大協定書に調印。 輸入血液製剤による薬害訴訟で、国が謝罪。 イスラエルのラビン首相が暗殺される。 仏が四回目の核実験実施。</p>

1998 (平成10年)	1997 (平成9年)
<p>職員会議において新年度よりSHRを朝に変更することを決定 一・二一 新校舎改築工事竣工 一・三〇 新校舎へ引っ越し 二・九一 卒業式 三・九一 入学式 新入生より新標準服着用始まる。全学年六クラス、計一八クラスとなる。 四・九一 (映画教室「ザ・エージェンツ」(新宿東映、パラス) 五・一一 体育祭(六義園運動場) 六・一一 新カリキュラム決定 七・一一 向陵祭 スローガンは「向丘営業中」 九・二六 校舎落成・創立五〇周年記念式典挙行 一〇・一一</p>	<p>卒業式 三・七 新標準服が決定される。 三・二五 北村透校長定年退職 三・三一 東京都立小岩高等学校教頭北村正生校長に補せられ着任する。 四・一一 学校週五日制への移行措置で、第二・四土曜日が休業となる。 四・一一 入学式 四・九 映画教室「評決のとき」(新宿東映、パラス) 五・一一 遠足 一学年は筑波山 二学年は鎌倉、三学年は東京デイズニerland 五・一九 生徒会を中心に、長崎県諫早湾干拓工事に関する署名運動が行われる。 六・四 合唱祭(板橋文化会館) 一年生が活躍し、優勝する。この年以降合唱祭は打ち切りとなる。 六・二四 体育館改修工事が始まり、体育館使用クラブは文京区総合体育館等を利用し活動する。 七・九 体育祭(六義園運動場) 九・一七 向陵祭 スローガンは「あそんでる?向陵祭」この年より学年テーマを設定。「一年・お祭り 二年・夏 三年・下町」優れた企画には表彰が行われる。 九・二七 クロスカントリー(多摩湖) 一一・六 修学旅行 二学年 沖繩 一一・一一</p>
<p>沖縄県名護市のヘリポート建設に大田沖縄県知事が反対を明言。 一・一一 長野オリンピック開幕。スピードスケート、女子モーグル、ジャンプ・ラージヒル、スケート・ショートトラックで日本勢が金メダルを獲得し、大活躍する。 二・七 町村文相は学校完全五日制を一年繰り上げ、二〇〇二年度実施を表明。 二・二四 長野パラリンピック開幕。 三・五 奈良県明日香村のキトラ古墳で星縮図や四神の白虎などが発見される。 三・六 サッカーくじ法案衆院本会議で成立。 五・一一</p>	<p>島根県隠岐島沖でロシアのタンカー・ナホトカ号沈没、大量の重油が流出 福井県三国町の海岸に漂着した重油の回収作業に全国ボランティア参加 一・二一 男子プロゴルフ・マスターズで二一歳のタイガー・ウッズが史上最年少優勝。 四・一三 長崎県諫早湾干拓事業で湾奥部を閉め切る「潮止め」実施。 四・一四 ロッテ伊良部秀輝投手が米大リーグNYヤンキースに移籍。新人としては異例の高額契約金。 五・二七 「脳死を人の死」とする臓器移植法案が参議院の本会議で可決、成立。 六・一六 香港が中国に返還される。 六・三〇 米航空宇宙局は、火星探査機の火星着陸をリアルタイムの映像で発表。 七・四 ダイアナ元英国皇太子妃がバリで事故死。 八・三一 インドのマザー・テレサ修道女が死去。 九・五 第二次橋本内閣発足。 九・一一 W杯アジア地区予選で不振のサッカー日本代表、加茂周監督を更迭、後任に岡田コーチ。 一〇・四 ノーベル平和賞は対人地雷全面禁止条約実現に取り組んできた非政府組織の代表に。 一〇・一〇 臓器移植法施行。 一〇・一六</p>

(河村・芝崎・佐々木)



創立五十周年記念座談会

向丘 この十年のあゆみ

出席者(敬称略)

- 新井 純子 (昭60～平9年在職 都立練馬高校教諭)
- 柿倉 昌信 (昭60～平9年在職 都立城東高校教諭)
- 川口 政利 (昭55～平4年在職 都立鷺宮高校教諭)
- 小林奈緒美 (平2～10年在職 都立小松川高校教諭)
- 甲野 信夫 (昭61～平8年在職 都立南平高校教諭)

本校より

- 校長 北村 正夫 座談会写真
- 教頭 須永 孝 教諭 河村 幸子
- 教諭 岡田 恵吾 記録
- 教諭 佐藤 信雄 教諭 芝崎 正昭
- 教諭 三田村久二 整理・文責
- 司会教諭 重村 弘之 教諭 重村 弘之

一九九八・七・四(土) 於 本校小会議室

司会 本日はお忙しいところ、また暑い中をお集まりいただきましてありがとうございます。最初に本校校長北村正生よりご挨拶申し上げます。

校長 本日はお忙しい中、ありがとうございます。ただいま重村先生を中心に五十周年記念誌の編集作業を進めてもらっている最中なのですが、ぜひ記念座談会をやりたいという企画が持ち上がり、どなたに来ていただくか考えていただきました。それで、向丘高校のこの十年をよく御存知の先生方にお集まりいただき、楽しく語っていただこうということになったわけです。御覧の通り、立派な校舎が完成しましたが、先生方は旧校舎、プレハブ校舎の時代を勤務なさっていますので、そのへんのところも、エピソードなどを交えてお聞かせ願えればと思っています。紙面の都合で充分には申せませんが、よろしくお願ひいたします。

旧校舎・プレハブ校舎・新校舎

司会 校長の話にもありましたように、長年、本校に在職され、比較的最近に転任なさったいわば、向丘この十年のあゆみの生き証人の方々です(笑)。私も皆さんと一緒に過ごさせていただきましたが、御来校になって新校舎の印象はいかがですか。この中では一番早く転任された川口先生から、旧校舎時代の思い出も交えて口火を切っていただきますし

か。

川口 私は一九七九年から十三年間、向丘高校に勤務しましたが、確かこの校舎改築の話が持ち上ったのは、七、八年前で、当時の校



長の池永先生から、どういう校舎にするか、案を出してほしいという申し出があったんです。

まだ改築委員会が発足する前で、たまたま柿倉さん、甲野さん、桑木さん、それに私が人事委員だったの、素人なりに考えてそれぞれ違う案を出しました。私は十一階建ての案を出したんですけど、甲野さんのユニークな案でしたよね。甲野 ええ、平屋建てで、その上を全て運動場にするというとても奇抜なものだったんだけどね(笑)。一部には好評でしたが、ほとんど黙殺されました。全部木造にしようなどというおおよそ実現不可能な案もあつたりしておもしろかったですよ。まあ、みんな狭い敷地の有効利用という見地に立って考えたと思います。

川口 そんないきさつで、転動してからもすぐく待ちどおしい気持ちでした。自宅がここから歩いて十分位の所なので、前を通るたびに足を止めて眺めていました。ちょうど昭和小学校が立派な校舎を作っていたので、あれ

に見劣りしないものが出来ればいいなあと思っていたんですが、実に堂々としていますね。旧校舎のあのきたなさと比べると、雲泥の差ですね。

柿倉 今、川口さんの話にも出しましたが、改築が決まった時、やっと新しい校舎になるとみんな喜んで、全日制と定時制の両方で検討委員会を作りました。いろいろ試行錯誤して、結局、この口の字形の建物に落ち着きました。それから、将来クラス数が減るだろうという予測はあつたのですが、設計の最初の段階で決まりますから、確かこの校舎は二十一クラス規模になっていると思います。だから比較的ゆつたりしているんじゃないですか。僕も検討委員会や改築委員会に関わってきましたので、新しい校舎を見て感慨深いものがあります。一度位この中で授業をしてみたかったなあという思いがあります。

司会 小林先生は引越しが終わったと同時に転動されたという方なんですが……。国語科の本の梱包など結構大変でしたよね。

小林 自分のことはともかく、今春に卒業させた生徒達から、「確か入学説明会の時に、最後の一年は新校舎で勉強できるって聞いたよね」ということをよく言われたんですよ。発掘調査やなんかがあつて工期が遅れ、結局新校舎に入れたのが授業が無くなってからの二回目ですかね。そういう意味では少しかわいそうな気がします。過渡期の生徒達の宿命な

のですが、思い出につながる校舎が形として無いわけですから、やっぱり特別な思いがあるでしょうね。

新井 そうですね。彼らにとってはあそこが母校ですからね。実は、私は皆さんより一足先に、引越したばかりの三月に新校舎を見せていただきに来たんです。その時、当り前のことですが、プレハブ校舎がすっかり消えていて、ショックでした。そして、すごく懐かしかったのは昔の三号館が残っていたことです。もちろん、きれいに改装されて別の部屋になって



いますが、かつての音楽室のことも甦ってきました。だから、私だけが思い出につながるものを残してもらって

いいのかなという気持ちもあります。最初は三号館も残さないで新しくすればいいのに思いましたが、工夫されて新校舎に上手に続いていると思います。自分が入れなかったことは残念ですが、長い間過ごした学校がこんなに立派になって嬉しく思います。

司会 今日本校から三田村、岡田、佐藤の三先生に出席してもらっていますが、長老の三田村先生から少し感想をお聞きしましょうか。

三田村 旧校舎の時は危険な箇所もいくつか

あつて、生徒指導上難しい面もありましたが、今はその心配はなくなつたと思います。ただし、少し無機質で、柔らかな味がなくなつた気がします。柿倉先生なんかと学年を組んだ時、卒業



ます。

アルバム用に、人文字を作らせて屋上から写真を撮つたことがありますよ。私はあれが一番印象に残っています。

岡田 僕も旧校舎、プレハブ校舎と過ごしてきましたんですが、新しくなつてみると前のことを忘れてなかなか思い出せないんですよ。ただ、校舎に象徴されるわけではないだろうけれど、プレハブ校舎を間に挟んで、生徒の感じも少し変わってきたんじゃないかと思っています。

佐藤 旧校舎時代のことでは、壁から虫が出てくるとああ夏だとかいろいろ懐かしい思い出があるんですが、一番記憶に残っているのは、今司会をなさっている重村先生が、明日から仮設の工事が始まる日に、非常階段の下からグラウンドをしみじみと見つめてらっしゃつた姿ですね。狭いグラウンドでしたが汗を流して頑張られた姿を毎日見ましたから、じんときくるものがありました。それで、グラウンドが無い状態で苦勞をされたんですが、ラ

グビー、サッカー、野球部などが存続したのは、生徒や顧問の先生方が辛い思いをしながらも工夫をしてみんな頑張ってきたからだと思います。もう少しでグラウンドがもどってきますね。

甲野 でも、オールウェザーのグラウンドになるんでしょう。最初の計画が変更になったらいいですね。防災上からも土のグラウンドを残した方がいいのですね。

司会 そうなんです。特に外でやる球技系の部にとっては致命的です。足にかかる負担やなんか大変なんです。グラウンドが無くなつて、東京都の小石川運動場を月に何回か借りたり、ラグビー部で言えば、荒川の河川敷などに出向いて努力してきました。そして、もう少し我慢すれば土のグラウンドがもどけると生徒達も私も本当に心待ちにしていたんです。いずれにせよ、学校の中には安心して飛んだり跳ねたりできる原っぱがなくちゃいけないと思いますよ。愚痴になりますから話題を移しましょう。先生方それぞれ転任なさつてからの年数は違いますが、あらためて振り返っていただくと、向丘はどういう学校だったと思われませんか。外から御覧になるとどういふ風に映りますか。

自由と人懐っこさ

新井 十三年間の在職中、三度担任をしたんですが、その中で生徒も変わったのかなあと

思う部分もありますが、基本的には思いやりや温か味のある生徒が多かったという気がします。最初に担任をした卒業生の何人かともまだ付き合いがありますが、一人の子が電話をかけてきて、「この前、学校の前を通りかかったらびっくりするほど立派な校舎になっていたけど、もう入れないよ。遠くなった気がする。」って言うてたんですよ(笑)。まあ、担任団で残っていた鳥居先生も私もいなくなっただけということもあるんでしょうが……。いつまでも卒業生が来れるような雰囲気が残っているといいなと思います。



甲野 向丘はもともと卒業生が来やすい学校だったですね。なんか人生に疲れたり傷ついたりした時に、ふらっと立ち寄ってみたくなる、そんな母校だったんじゃないかな。私は今、多摩地区の比較的歴史の浅い学校に勤めています。雑多なエネルギーや自由さが恋しくなることがあります。向丘での思い出は、楽しかったこと、悲しかったこと、いろいろありますが、何となく、最後に、重村さんや新井さん達と一緒に担任をした二年間が強く印象に残っています。長い教員生活の中でも最も大きな経験をしたと思っています。八十名近い二次募集で、

様々な生徒を受け入れました。多難な船出で、何回も夜遅くまで学年会をしたりしました。が、いつの間にか、全てを受け入れて、生徒の立場に立って考えようという雰囲気が出来上っていたと思います。それから、向丘の生徒は卒業してから伸びるとよく言われるんですが、それは何よりもこの学校が体質としてもっている自由さが培ったものだと思いますよ。自由の限界や可能性を無意識のうちに身につけているという気がします。この校風だけは作ろうとして作れるものではないですから、消えてほしくないですね。

川口 私は向丘を出て七年になりますが、甲野さんも言ったように、やはり自由という言葉に象徴される学校だと思います。現在私のいる学校も三学区では自由なのですが、向丘の自由さと質が違うなって感じます。与えられた自由さと生まれ出た自由さの違いでも言ったらいいんでしょうか。あの頃は、生徒達が自由であるのはいいなあと思う反面、新しく来られた先生から、向丘はこんなんでいいの、と言われるとね、不安でもありました。自由過ぎて生徒が溺れてしまうんじゃないかってね。外出も服装もあまり注意しませんでしたから。確かに不安だったんだけど、離れてみると、生徒達はしつかりやっていくんだから自由でよかったんだとつくづく思いますよ。生徒の気質も特徴がありますよね。新井さんは思いやりと言ったけど、私だと、人

懐っこいというイメージが最初に浮かびます。とにかく先生、先生ってやって来ますよね。そんなことで、一緒にスキーに行ったり、結婚式に招かれ、今につながる付き合いがあるのは向丘の卒業生達です。この三十年年かの教師生活の中で一番忘れられない時代だったと思います。

甲野 生徒も教員もお互いあまり距離を置かないですよ。

新井 それは私も感じます。

司会 川口先生から人懐っこいという言葉が出ましたが、これは向丘の生徒を語る一つのキーワードだと思っていますが、今も変わっていませんよね、岡田先生。

岡田 そうですね。僕は今年三年の担任なんです。このところ重村さんが三年の女子を中心にやたら人気です。僕は重村さんより一年後に来たんですが、その時の印象は、強面で熱血教師という印象が強かったです。が、今では、「シゲシゲ」とか愛称で呼ばれ、手を振られたりなんかして喜んでますから、人懐っこさは健在ですね。

司会 司会を礼に上げるのはやめましょう。歳月は人を変えるんです。

柿倉 僕なんかも柿倉先生と呼ばれたことはほとんどなくて、「カッキー」と呼ばれてましたからね。生徒も職員集団もよそよそしくなくて、和気藹々とした雰囲気がありました。旧校舎の職員室の中央に長いテーブルが置いて



てあつたのを覚えていますか。当時のことを思うと、何故かあのテールが浮かんできて、ひよいと後ろを向くとみんなと話が出来るとそこへまた生徒が入ってきてわいわいやるという垣根のない霧田気がとても好きでした。そんな霧田気は向丘のかけがえのない財産ですから、大事にして

ほしいと思います。
小林 生徒も個性的だけど、教員も個性豊かな人が多かったですよ。だけど、大事なのはいろいろな人がいて、さまざま意見も出るんだけど、それぞれの個性を認め合つて、そんなのだからいいのになかったでしょう。沢山の選択肢の中からより良いものをみんなで見つけていくことを向丘に来て学んだ気がします。金子みすずの詩じゃないけど、「みんな違って、みんないい」という暗黙の了解があつて、それが生徒に対する姿勢にも反映していたんじゃないかと思えます。

向丘の思い出

司会 では次に、向丘での生活で忘れられない思い出、ということでお話をお聞かせしましょうか。柿倉先生は山岳部の指導を続けら

れたわけですが、部活動を通じて何かありますか。

柿倉 向丘にはもともと山岳部はあるにはあつたんですが、僕が来た時は廃部状態でした。再興することは難しいんじゃないかと思つていたんですね。ところが、体育の佐藤正和先生がクラブ関係をまとめておられたので相談したところ、じゃまず同好会を作つて、来年、部にしましょうと簡単におつしやつて下さつたんです(笑)。それであとに引けなくなって、やつてみようということで、他の先生の協力も得ながらスタートしたわけです。春と秋、それから夏の合宿と、毎年生徒たちと楽しく山登りをさせてもらつて感謝しています。今いる学校には山岳部がないので、少し寂しい気がします。



岡田 僕も細々と演劇部の顧問を続けていますが、忘れられないのは初めて男子部員が入ってくれたことです。前任校が江東商業で女子ばかりだったんで嬉しかったですよ。女子に男役やらせると、どうも宝塚の出来さこないみたいになつてうまくないんですよ(笑)。だから、その一人の男子部員を得たことで幅が広がり、つかこうへいの芝居をやることができました。

今年の文化祭で六階の多目的ホールを初めて使ってますが、L字形の空間ですから使い勝手はあまりよくなさそうですね。でも、照明設備やなんかがあるのでこれまでよりは良い状態できると、これから夏休みにかけて練習に励みたいと思つています。あとは、教員演劇のことですかね。ここに座長(柿倉)さんも来ていらつしやいますが、あれはあれで文化祭の余興としてはおもしろかつたんじゃないでしょうか。

甲野 練習時間よりも飲んでる時間の方が長かつたというわさもありますが(笑)。

司会 うわさではなく、事実です。新井先生も熱心に吹奏楽部を指導されたんですが、いかがですか。

新井 私が来た時は、吹奏楽部じゃなくて、室内楽部だったんです。ギター部が盛んな学校で部員も多く、全国大会で金賞を受賞したりしましたよね、三田村先生。

三田村 五十から六十名位部員がいましたね。そのギター部も時代の流れで今年には部員がつかいなくなつてしまいました。

新井 残念ですね。吹奏楽部は部員が少なかつたので、コンクールという方向にはいかなかったんですが、そのかわり、教員や卒業生を混えて演奏会を開いたりして、とても家族的な霧田気の部分でした。帯津先生、草野先生、橋本先生、菊地先生、北原先生、そして柿倉先生と、いろんな教科の先生が入つて下さつ

て、生徒以上にしごいた方もいらつしやいます(柿倉先生苦笑)、楽しくできたと思いません。これも向丘高校の先生と生徒の親密さの現われで、ちよつと他の学校にはないやり方だつたんじゃないでしょうか。この関係はやはりこの学校で得た宝だと思つています。

小林 部活動以外で何かありますか。小林先生。

小林 そうですな。向丘の生徒は個性が豊かだという話を先ほどしましたが、その中でどうしても忘れられない生徒が一人いるんですよ。D君というんですけどね。彼はとても乱暴でわがままで、おまけに甘えん坊で、将来とんでもないんじゃないかと思つていたんです。二年、三年と私のクラスになって、なんとなく人間関係もできて、卒業したら、なんと本当に立派でおもしろい人間になりました。



た。日本映画が好きで、小津安二郎なんかを観るようになった。そうなんです。それでわざわざテープを持って来てくれて、「先生、これいいですから見て下さい」なんて言うんですから、人って分からないですよ。高校生ぐらいって、自分でもどうしていいか分からない時期があつて、それを押えつけないで見守つてやればなんとか

なつていくのかなあとこの頃つくづく思います。

川口 思い出はいつばいありますが、一つをあげるとすれば、やはりクロスカントリー大会でしょうかね。あれに生徒と一緒に出場したのがきっかけで、見事にはまりました。今ではマラソンが日常生活の一部になって、いろんな大会に出場して楽しんでます。生涯のスポーツになりそうですな。

佐藤 僕も向丘高校での生活が長くなつて、思い出がいつばいあるんですが、何よりもここで働けてよかつたなあと思うことは、クラス経営でも何でもとにかくやりたいことをやらせてもらい、言いたいことを言わせてもらえて、伸び伸びと過ごせたことです。勝手にやったんでしょう(笑)。

甲野 生徒の間の自由さというのは教員の間にもあつて、あれやつちやだめ、これやつちやだめ、ああしろ、こうしろということが同僚の間でなかつたよね。若い教員に対して、やりたいことをどんどんやらせる、その変わり責任取るんだよ、というのをあまりプレッシャーをかけないで教えるような雰囲気があつたね。

佐藤 そうです。特に僕は個性が強いので、本当にありがたかつたと思つています。振り返つて、一番の思い出は修学旅行です。過去九年間で四回も引率に行つていますが、

新幹線から航空機、近畿から四国、山陽、山



陰、九州、沖繩とどんどん広がつていきました。苦労もしたんですが、やはり知らない所へ行つた時の生徒の喜び、感動はいつ見てもいいなあと思つます。特に沖繩への修学旅行は新鮮でした。確か沖繩への先鞭をつけられたのは重村先生達の学年でしたよね。

小林 そうです。あの時の学年は、まさにプレハブ校舎に入學して卒業していった生徒達で、恵まれない環境で頑張つていった生徒達から何か思い出に残る所と考えたんです。それで甲野先生なんか相談して私が計画を立てたんです。初めての試みで手探りだつたんだけど、おもしろい修学旅行でした。

甲野 平和学習の時の態度などは立派で、捨てたものではないと思つました。それから何といつてもおかしかつたのは三泊目のホテルですね。日航アリビラという本格的なホテルなんで悪戯したりしないかと心配したんですが、結果は逆でした。ホテルに入った瞬間にロボットのような動きになつて緊張してしまつたよね。

柿倉 ヲヤンバルコースという班別コースがあつて、「このコースは山が好きな柿倉さん

のために考えたようなものなんだから」と重村さんに言われて引率したんですが、見事に何も無い所でね。お陰様で沖繩の自然の中で有意義な時間を過ごさせていただきました。

司会 海に落ちた生徒もいましたね。

甲野 いっぱいいいたね。ちゃんと海水パンツはいて。押すなよって言いながらぞろぞろ落ちていくんだよね。

川口 先生で落ちた人はいないの。

佐藤 いましたね。

柿倉 いた、いた。

佐藤 重村先生のあとの私の学年の時で、〇先生が本当にやめろよって言ってたんですが、悪い人に落とされたんです。それで私はその現場をちゃんとカメラに撮って、それからタオルを持って駆けつけたんですけども、非常に嬉しそうでしたよ。

岡田 いじめはやめようよ。

川口 ところで、この頃は体育祭はどうなっているんですか。

岡田 六義園のグラウンドを借りてやっています。場所はいろいろ変わったんですが、工夫された種目があったりして楽しいですよ。今年から六月に変更になったんですが、保護者の見学も増えました。

三田村 昔は本校の狭いグラウンドでやってたんですけど結構賑やかでしたね。盆踊りがあったりしてね。

柿倉 ありましたね。毎年、三年生全員が浴

衣を着て踊るんですよ。

川口 特に女子が浴衣着て、化粧をすると急に大人っぽく見えたりして嬉しかったですよ。司会 あの盆踊りは佐藤正和先生が指導されていて、先生御自身の踊りも枯れたいい味がありました。

甲野 陸上記録会もやりましたよね。北区の競技場を借りたりして。成績でふるわない生徒にもちゃんと活躍の場あり、また一生懸命頑張っていたよね。

柿倉 教員の方も、成績や行動や身なりで生徒を色分けして見なかつたしね。それが自由にながっていくのかもしいけれど。

佐藤 僕はスポーツとは無縁の人間だったんですが、ある人にはめられてラグビー部の顧問になりました。それから七回、重村先生と一緒に菅平の夏季合宿に行きました。初めて行った時は、ラグビーの合宿というのはこんなにも辛くて厳しいものかと驚きましたね。

重村先生もまさに鬼になって朝から晩まで指導されるんですが、四泊目位になると病人や怪我人がどんどん出てきますし、引率している方も肉体的にも精神的にも疲れてきます。ある年などは病人用の部屋を一つ確保したこともあります。生徒は夜のミーティングなどで眠りながら聞いている子もいるし、廊下を這うように歩く子もいます。それでも頑張るんですね。これはちよつと学校では考えられない姿なんです。疲れるんだけど、妙なす

すがしさが残るんですよ。いい経験ができたと思つています。

甲野 昔のラグビー部はスクールウォーズみたいだったものね。特に前に重村さんと一緒に持った学年は個性的な子が多かった。勉強が苦手な子も多かったし、問題行動もあった。でもね、心はあたたかい子ばかりだったよ。よく印刷用紙を運んだりしてたよね。忘れられないのは、最後の年に玉川学園で公式戦があつて、それを見に行つた時に、お礼と記念にといつて彼らから夫婦湯呑みをもつたことですね。

司会 甲野さんにはよく試合を見に来てもらいましたよね。確かに大変な子たちがいたんですが、そういう子たちが一生懸命やれる場があることは大事だと思えます。佐藤先生が合宿の話をしたけれど、大いに助けてもらいました。OBもたくさんやってきて、うとうとらしいと思うこともあります。私はそれを拒まないんです。ラグビー部のOB会には一つの不文律があつて、走れなくなつたら合宿に来れないんです。だから、彼らはわざわざトレーニングを積んできて、現役以上に走る奴もいます。模範的な生徒というのは少なかったんですが、会社の休みを取つて菅平の山に登つて来るのは、やはり苦しい思いをしたことがいい思い出になっているからではないでしょうか。

岡田 先ほど今年ギター部の部員がいなく

なつたという話も出ましたが、伝統のある部
や場は何とか残していきたいものです。私は
この頃よく、昭和からこの学校にいる人は、三
田村さんと宮坂さん、それから重村さんだけ
になつたと冷やかすんですが、この先教員の
在職期間が短くなつてきますので、改善すべ
きところは改善し、良い伝統は残していかな
いと学校の特色は失われていくと思います。
三田村 昔は二十年、三十年と在職してい
る人がいて、その人に聞けば何でも分かりま
したね。

川口 いましたね。生き字引きのような人が。
教員同志でよくスキーや旅行にも出かけま
したけど、今はどうなんでしょうか。

岡田 あまりないみたいです。教員の仕事
も増えているし、ゆとりがなくなっているよ
うな感じがします。もつとも、農作業と称し
てゴルフなんかに行っているグループはある
ようですが。

甲野 確かに時間的ゆとりがなさ過ぎるよね。
教員のゆとりが生徒のゆとりに与える影響は
大きいと思うけどね。

向丘高校への助言

司会 お話は尽きませんが、予定していた時
間になりました。最後に向丘高校の六十年、
七十周年に向けてご助言をいただければと思
います。

川口 自由の部分と活気のある部分の両方を

兼ねそなえた学校であつてほしいと心から
思っています。

柿倉 やはり向丘の伝統は川口さんのおつ
しやつたところだと思つて、明るくて伸び
伸びとした生徒がいて、なかなか学校また
は職場であつてほしいですね。

小林 すでにこの座談会の中で言つたこと
ですが、自分と違うからだめというんじやな
く、違ういいところを認めつつやつていく学
校であつてほしいし、この立派な校舎にぬく
もりを与えていってほしいと思います。

新井 みなさんと同じですけども、いい意味
での自由はなくさないでほしいと思います。
生徒もよく自由は難しいつて言つてました
が、自由という校風を守つていくためにはど
うすればいいかを自分の頭で考えられる生徒
が増えていけば、ますます素晴らしい学校に
なつていくんじゃないかなと思つています。

甲野 新校舎が落成し、本年度、向丘は入試
倍率がトップになりましたよね。それは喜ば
しいことには違いないけれど、忘れてはなら
ないのは、やはりあのプレハブ校舎の時代だ
と思います。お互い苦しい思いをしましたね。

向丘の十年の歴史の原点があそこにあるよう
な気がします。私自身もいろいろな生徒を受
け入れて、一緒に過ごす中で生徒の立場に
立つてものを考える、生徒の権利を守るとい
うことを再認識しました。生徒の権利、人権
を守つていこうという教職員の姿勢が自由を

保証し、校風として育てきたんだと思いま
すので、大切にしていってほしいと願つていま
す。司会 どうも真心のこもつたお言葉をいた
だき、ありがとうございます。先ほど岡田先
生もおっしゃつていたように、一つの学校で
の在職年数が最長で八年ということが決めら
れまして、一人の教員が一つの学校で十年の
歴史さえも刻めないという事態になり、伝統
というものが削りにくく、守りにくい時代だ
と思います。ですが、先生方ご指摘の自由と
いうかけがえのない伝統を失わないで、な
おかつ活気のある学校にしていきたいと思つ
ておりますので、今後ともご協力をよろしくお
願ひいたします。

教頭 今日は楽しいお話や貴重なご意見をう
けたまわり、有意義なひと時を過ごすことが
できました。どうも長時間ありがとうございました。

回想記

『思い出の日・思い出の人』



卒業生の涙

山口 千鶴子

学校教育で最も大切なことは、生徒達が「この学校で勉強できて、本当に良かった！」と思つて卒業していくことだと思つています。そのことを、私は向丘高校の教頭時代に確信しました。

校内を見回っていた時のことです。通学用の土足で階段を上がつていく男子を見つけ、私は追いかけて行って彼の腕をつかまえました。その途端、彼が小脇に抱えていた本が階段の下に落ちました。むっとした表情で振り返った彼に、私は「土足はだめだ！脱ぎなさい！」と怒鳴りました。すると彼は土足のままの片方の足を階段の手摺にどんと乗せて、怒鳴り返しました。

「てめえ、目ん玉かっぼぼじつて、よく見る。どこが土足だあ！」その生きのよさが私には妙に微笑ましく、本を拾つて彼に渡ししました。一か月位たつて、彼が照れ臭そうな顔をして私のところへ謝りに来ました。担任の粘り強い指導があつてのことでした。

「赤点」がいくつもあつて、補習やレポートなど、先生方のご指導のおかげで、どうにか進級し、やっと卒業にこぎつけた生徒が、専門学校に進んでからは成績がトップになつたと聞きました。

毎年、卒業式終了後、式場を過ぎながら出ていく生徒が大勢いました。職員室で先生方に、「この学校だから卒業できたんだ。有り難うございました」と涙を流す生徒達もいました。あれほど多くの卒業生の涙を見たことが、向丘高校での忘れられない思い出です。

(元教頭 昭62年〜平2年在職)

練馬区立総合教育センター教育相談室勤務)

あの日・あの時

塚田 哲男

私が都立向丘高校に転任すると、すぐに二学年の担任につけられた。秋には、四国、中国地方の修学旅行。この修学旅行の最終日のことである。東京行の新幹線に乗るため、姫路駅のホームに立って、同僚教師と旅行中の無事故のことなど話しをしていた。背丈の高い頑丈な体格の生徒が私に近付いてきた。「先生、こっちへ来て下さい。クラスの皆が先生に用事があるのです。」こう言うと、彼は私の洋服の袖を引っぱって、ホームの中ほどへ私を連れていった。私は一寸不安になったが、顔は笑うように努めた。生徒らは突然、私を取り囲んだ。「さあ、いこうぜ」と誰かが言い、私を宙に放り上げた。二回、三回と放り上げられる中、私は石畳に落されるのを覚悟した。胴上げは終り、拍手。大きな体格の彼は「先生、旅行中はありますがうございました。」と、にっこり笑った。このクラスの子らは三年生になると、それぞれの進路の実現を目指して努力した。

「倫理」を選択している生徒を連れて、学校からお茶の水まで散策しながら、校外授業をしたことがある。湯島の聖堂では「杏壇」の額が掲げられている門の傍に立った。そこで「杏」を育むことと教育、「杏林」の形成と医道について、孔子の思想を交えて話をした。生徒らはじっと聴いていてくれた。嬉しかった。

桜が校門脇に一本あって、四月には新入生を迎えて綺麗に咲いた。その老桜は校舎改築で撤去され、今はない。若い桜が代って植えられた。青年の桜木よ、立派に育ち美しい花を咲かせてくれ給え。

(元社会科教諭 昭53年〜平8年在職)

回想記

水飴の話など

渡辺 節子

昭和三十八年春休み、島から引揚げた荷物を竹芝留にしたまま、四月から勤務する筈の向丘高校の様子を見に行くと、人影は無く、陽炎のちらちらする白い前庭が静まり返っていた。私は振り返り、一目散に何かに向って駆出せば、二十代はまだすぐ背後にあって、夢は摺んで引戻せる距離にあつたのに、結局は此処が好きで定年を迎えるまでお世話になった。その間、八人の校長さんの下で働いた。「アーノルド・J・トインビーは言った。文化果てる処に文明は起ると——愛と英知と創造の追求に諸君は……」堂々と颯爽と、生徒集会での佐々木校長の話ぶりに、若かった私は学生気分に戻って憧れのところで聴いていた。当時の生徒は大人びていたし、その気魄に圧倒されていたのだろう。

「中国のお話です。水飴がありました。孝行な息子は病気の親に嘗めさせられると喜びました。泥棒は敷居に流せば戸の音がしないと思いました。同じ物でも人により使い方は異なるものです。」細い優しい声でこれだけの話をする藤黒校長は壇を降りた。千人の生徒は一瞬、啞然として息をのみそれから田圃の蛙の様に騒ぎ始めた。

その位置で座るんだ、後にずれるんじゃない!と凜とした体育の先生の声に反し、潮騒いの様に狭い体育館内に波打つ生徒の熱気が後方に音たてていく様が甦える。どの時代のどの校長さんもそれぞれ個性のある話を聞かせて下さった。いまは只、ひたすらに懐かしい。

(元家庭科教諭 昭38年〜平2年在職)

三つの思い出

水山 清

向丘高校の創立五十周年おめでとうございます。私は昭和四十四年四月より定年まで、十九年間本校にお世話になりました。

昭和四十四年の十二月十五日は旧一号館四階が全共闘を名のる生徒（他校生も居った）によって封鎖された日で、通勤の足であった「荒川土手」からのバスが渋滞でおくれて遅刻。始めての遅刻と封鎖が重なりショックでした。そういえば私の持ち時間が二年三年それぞれ七クラスの週一時間の漢文だったので、その後の自主HRにはよく引っぱり出されました。四十六年の始め頃まで校内がガタガタしていたのを覚えています。堂堂巡りの議論もあつたりして……

五十年の事。何とか、生徒の希望する筑波大の推薦入学（面接と作文が課せられた）に合格させたいと思い推薦文の原案を作り、校長にお見せすると「私もお手伝いしよう。」と言われ、二人で夜の八時過ぎまで粘って文言を推敲しました。結果は合格、やったあ……と喜び合つたのですが、本校ではこれが最初の終りでした。

昭和六十年七月に発行された「全国高校生文芸集」の創刊号には本校の「文学散歩クラブ」の作品が取り上げられ、八月には盛岡で行なわれた第九回総合文化祭にクラブ代表一名と参加。交通費・宿泊費と日当が生徒にも支給された事は、長い教員生活の中では始めての事でした。岩手の高校生との交流の中でその時感じた事は賢治や啄木の作品理解の深さと、郷土に寄せる愛情でした。

思い出の一端を記しました。

（元国語科教諭 昭44～63年在職）

コンピューターと私

千葉 豊

「思い出の日・思い出の人」という題を頂いたが、私が向丘高校に奉職していた時に始めて今でも毎日恩恵を受けて、向丘高校とはどうしても縁の切れないものがある。その一つがパソコンなのである。従って、どうしてもこのパソコンを通じてお世話になった人々について書くことになってしまふ。

コンピューター教育で名高い向丘高校の先生方の間には、コンピューター関係では当時二つの勉強会があつた（コンピューター勉強会とC言語研究会と）。私はそこで多くの先生方にお教え頂いた。特に理科実習助手の石野秀雄先生、英語科の新井研一先生、物理の鳥居先生には機械の操作法から「桐」や「アクセス」で古文を構文的に記号化し、それをデータベースとして活用する方法などまで夜遅くまで教えて頂いた。本当に頭の下がる思いである。お陰様で今はコンピューターなしでは国語の勉強は出来ないままでになっている。向丘高校のコンピューター勉強会での出会いには、私に研究を続けさせてくれた大恩人なのである。

それから、向丘高校の卒業生たちのことは、勿論いつも折に触れて思い出す。一人でぼんやりしている時や似た容姿の子に出会つた時、ふと頭の中でちか合つてしまい、ひどい時には昔教えた生徒の名を呼んで笑われることもある。出来の良かった子も出来なかつた子も、それぞれに皆が我が道を見つけて幸せで在りますようにと心から祈る。

（元国語科教諭 昭61年～平8年在職）

我が十六歳のピピピ

寺村光司

あれは、そう、昭和三五年の二月か三月のことでした。そのころは、「予餞会」といつて卒業生を送る学芸会のようなものがありました。クラス毎、学年毎、倶楽部毎にそれぞれ歌や、芝居をやつてみんなで楽しむというものでした。

私は一年F組で、体育館の一番後の列でイスの背当てに腰を掛けて見ていました。会の終りの方で少しだらけていて、私の回りには殆ど人がいなかったので、ふと人の気配を感じて、振り返りました。その瞬間、ドキッとして意気が詰まりそうになりました。そこには二人の女生徒が立っていました。その内の一人は今までに会ったことも、見たこともないほどの美人でした。ドキッとして一瞬しか見ることも出来ず、振り返りたくても度胸がなく、ただ前を向いてドキドキしていました。それきり学内ですれ違うこともなく、名前を知るすべもなく、間もなく春休みになりました。

二年になって新しいクラスに行つてみると、その人がいるではありませんか。こんなにおどることはなかったのですが、何か心の深いところで隠すもの（自分より相手の方が、断然素敵だった）があり、あまり話す機会もなく、二年が過ぎてしまいました。

お付合は、大学生になつてから始まり、楽しい思い出、苦しい思い出、色々ありますが、いまでも時々連絡をして、孫は未だかなどと情報交換をしています。結婚という縁を得ることは、ありませんでしたが、母校と共に青春の貴重な思い出です。

(第14期・昭和37年卒 株式会社寺村企画社長)

創立五十周年を祝して

井上芳子

石、佐々木両校長先生、担任の津田、野崎両先生、教科の先生、お世話になりました。友だちに恵まれ、高校生活は充実したものでした。かけがえのない向丘三年をふりかえり厚くお礼申しあげます。

— 私達は暗い林間で清水を飲み

— ルックサックを開いて健康に食

— 深山の真昼をほがらかに鳴く

— 遠い、近い、筒鳥を聞いた— 尾崎喜八「友」教科書の一節

雄大な富士を右に一步一步視界が開けてくる。三十分で五分休憩。先生が木苺をとつてくださる。陽炎の中、黄色い花が一面に咲き、OBや先輩が「イチニ、イチニ」と励ましの声援。ポツカ訓練の石の荷が肩にくいこむ。男子は40キロ。女子は20キロの重量。塔が岳の眺めはすばらしい。石のひとつにS 37・6・16、丹沢にてと記す。

体育館前を整地して力を合わせ向稜山岳部のケルンをたてる。二期工事の砂とセメントをゆずり受けアルプスの石、富士の石を積む。創立以来の学び舎の木造階段で合宿訓練をし、旧教室で部報を作る。竣工成つた母校には三基のエレベーターがある。兎跳びをした校庭を一周し、白い小石を掌にのせると渦巻が幾重にもなつていた。高二の修学旅行の時は新幹線工事が進み、高三の年に東京五輪の聖火は白山通りを走り、五色の輪が空に描かれ、やがて風に流れた。半世紀の日々。ここらでちよつとひと眠りせずに向丘のお山まで。

(第17期・昭和40年卒)

わが青春時代

田中秀夫

向丘高校五十周年に向けての原稿依頼を頂いた。頭の中に、あの高校時代が次々とパノラマの如く甦った。

目指す高校の受験に失敗した日のこと。受験番号が見当たらない。下を向いて歩いている自分。気が付くと向丘高校の校庭で補欠合格の番号を、ぼんやり見つめている自分がある。それから楽しい高校時代の日々、毎日が本当に楽しかった。勉強している姿は見当たらない。時々、何かで多数決になると男子学生が必ず女子学生に三対二で負けていた。昼休みに三階建てと一階建ての木造校舎のほんの隙間で、得意気にバレーボールのトスを上げている自分に、校舎の窓々から応援している女子学生の顔々。すべてが輝いている学生時代であった。

次に先生方の懐かしい顔が浮かんでくる。担任だった物理の降旗先生、生物の春山先生、数学の田中先生……。私の青春時代の思い出に欠かせない先生方、そして同期の友人達、皆様お元気でおられるだろうか。

楽しい高校時代そして、その後に来る我が闘争の浪人時代。文部省教育の落第生として自覚し、自分に合った勉強方法に活路を見出そうと日夜苦しんでいる自分の後ろ姿が最後に浮かんで消えた。

何にもとらわれない、柔軟で幅広い思考が絶えず要求される科学者の一員として、教官として現在何とか頑張っているのは、これら青春時代全ての経験が糧となっていてと確信している。最後に私の信条としている言葉を後輩諸君に贈る。

創造愉快

人生はすばらしい。向丘高校の後輩諸君ががんばれ。
向丘高校五十周年誠におめでとうございます。

(第13期・昭和36年卒 筑波大学応用生物化学系教授)

笑顔の先生

柳澤淳子

「じゃあジュン、ハンドボールのシュート見本でやってみて。」先生はそう言ってくれて私にボールをわたした。私は、先生に頼まれたことが嬉しくて張りきってやったが、バスケットボール部の私にとって、三歩歩いてシュートするという動作は、どうもぎこちなくカッコ悪い結果となった。顔では笑っていたが、自分が情けなかった。高校三年間、バスケットボール一色の生活を過ごした。少ない部員数で上を目指して毎日休みなく練習をしていた。顧問の先生は、体育の山田邦子先生。直接バスケットを教わることは少なかったが、部員数が少ない分、よく声をかけてもらい可愛がってもらった。定期制があるので、放課後の練習は五時までしかできないが、いつまでも残って練習している私たちを先生は、早く帰りたいと言いながらも練習をやらせてくれた。

いつも笑顔の先生だった。体育の授業でとても見本とは言えないシュートをしてしまっても、笑顔でフォローしてくださった。いつも笑顔の先生が好きだった。そして現在、私も教員として子ども達と接している。時々先生の笑顔を思い出しては、笑顔で子どもに接することを心がけている。

(第44期・平成4年卒 葛飾区立上平井中学校教諭)